

(様式3)

事業所名 グループホームソフトハンド茨島

作成日: 平成30年 4月 1日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	13	冬季の避難経路の確保ができていない。離設の危険のある利用者がおり、裏口に施錠することがあった。年に2回避難訓練を行ってはいるが、施設単独であり、近隣住民との連携はできていない。	地域と連携した避難訓練を行う。冬季の避難経路の確保、裏口の施錠は最小限にとどめるなどを職員と再確認し、改善にむけて努力する。	緊急時等は、近隣住民や町内の方々に協力をさせていただけるように、運運営推進会議等の議題としてとりあげる。年に2回の避難訓練の際、町内とも連携した避難訓練が行えるように計画する。裏口の施錠は夜間等最小限にとどめる。 6ヶ月
2	3	2ヶ月に1度、定期的に運営推進会議を開催しているが、会議録の内容が薄いため、会議の全体像が把握しにくい。また、事故報告等はその後の対策や取り組みが報告できていない。	会議の内容は、誰が、どのような発言をしたのか、誰が見ても理解できるように、時系列に詳細に記載する。事故報告に関しては、どのような対策をしたのか、その結果はどうだったのかも報告する。	施設側の参加者に、管理者の他に部門リーダーも加え、詳細な議事録をとる。会議録はこれまでと形式を変え時系列に記載する。月に2回の定期カンファレンスの際に、必ず事故報告についても議題とし、職員間で取り組みを模索する。 6ヶ月
3	1	地域の医療機関や薬局、スーパー、美容院を利用してはいるが、地域密着型の施設として、施設側から地域への具体的な発信が現状としてはない。	日常生活や年間行事、緊急時の対応などに、地域との連携を取り入れていく。	施設での年間行事の中に、地域との関わりを取り入れた行事の企画を起案する。町内会長や副会長の協力も得て、緊急時・災害時の地域連携を強化する。 6ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。